

事例 19 GSSによる多言語表記カードの配布

(中部森林管理局 ^{ちゅうしん} 中信森林管理署)



- 長野県 松本市（まつもとし）上高地（かみこうち）国有林
- 登山に訪れた観光客にカードを配布する様子

中部森林管理局中信森林管理署では、GSS活動を通じて、高山植物のパトロール、入林者へのマナー指導、国有林野事業のPR活動、ロープや看板の維持・補修等を行っています。

令和元年度は、近年登山に訪れる外国人観光客が増えていることを踏まえて、幅広くマナーを呼びかけるためにライチョウ等の写真をあしらったカードを多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で作成し、配布を行いました。これにより、多くの入林者に注意喚起を実施し、山岳マナーやルールの普及を行いました。

今後もこれらの活動について、同局のホームページで公開しているGSSパトロール日誌を通じて広く伝えていくとともに、カードの改善なども検討していくこととしています。

引き続き、国有林野の豊かな自然を多くの方に楽しんでもらえるよう、環境の整備や注意喚起を続けていきます。